

# ゼロトラスト導入状況 意識・実態調査報告 2023

## 調査方法について

ゼロトラストアライアンスジャパン事務局が、事前調査と本調査を各1回行いました。期間は2023年10月から11月。

日本在住者14000名を対象に、オンラインにて事前調査を実施。内、従業員数100名以上の企業に在籍中で、情シスまたはセキュリティ管理部門のいずれかへの所属者、合計400名を対象として本調査を実施。

# 目次

## 1. 事前調査

### 基本属性

アンケート対象者

業種

事業規模別所属部署

事業規模別所属部署 割合

### 報告A ゼロトラスト認知・認識

- ・ゼロトラスト認知・認識 業種別割合：従業員規模100名未満社勤務
- ・ゼロトラスト認知・認識 業種別割合：従業員規模100名以上社勤務

### 報告A-2 ゼロトラスト認知・認識

- ・3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種 2022-2023比較

## 2. 本調査

### 基本属性

アンケート対象者

### 報告B クラウド・オンプレ利用状況

- ・クラウド・オンプレのシステム導入数 従業員規模別
- ・システムの管理状況

### 報告C ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査

- ・ゼロトラストセキュリティ5要素 意識調査
- ・ゼロトラストセキュリティ導入状況 要素別

### 報告C-2 導入、未導入比率

- ・5業種(医療・福祉、サービス、製造、情報通信、金融・証券・保険)

### 報告D ゼロトラストセキュリティ5要素 導入状況別 今後の予定

- ・導入/未導入要素別 今後の予定

### 報告E 検討や導入を進める上で直面した課題

- ・要素5グループ間比較 10課題
- ・10課題間比較 要素5グループ

# 目次

## 1. 事前調査

### 基本属性

アンケート対象者

業種

事業規模別所属部署

事業規模別所属部署 割合

### 報告A ゼロトラスト認知・認識

- ・ゼロトラスト認知・認識 業種別割合：従業員規模100名未満社勤務
- ・ゼロトラスト認知・認識 業種別割合：従業員規模100名以上社勤務

### 報告A-2 ゼロトラスト認知・認識

- ・3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種 2022-2023比較

## 2. 本調査

### 基本属性

アンケート対象者

### 報告B クラウド・オンプレ利用状況

- ・クラウド・オンプレのシステム導入数 従業員規模別
- ・システムの管理状況

### 報告C ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査

- ・ゼロトラストセキュリティ5要素 意識調査
- ・ゼロトラストセキュリティ導入状況 要素別

### 報告C-2 導入、未導入比率

- ・5業種(医療・福祉、サービス、製造、情報通信、金融・証券・保険)

### 報告D ゼロトラストセキュリティ5要素 導入状況別 今後の予定

- ・導入/未導入要素別 今後の予定

### 報告E 検討や導入を進める上で直面した課題

- ・要素5グループ間比較 10課題
- ・10課題間比較 要素5グループ

## アンケート作製にあたって

本調査の設問内に記載されているゼロトラストを構成する要素は、2022年6月発表資料「ゼロトラスト移行のすゝめ」（IPA：独立行政法人情報処理推進機構産業サイバーセキュリティセンター）を参考に作成しました。

（2023年12月時点）

[https://www.ipa.go.jp/jinzai/ics/core\\_human\\_resource/final\\_project/2022/ngi93u0000002ko3-att/000099778.pdf](https://www.ipa.go.jp/jinzai/ics/core_human_resource/final_project/2022/ngi93u0000002ko3-att/000099778.pdf) PDF

[https://www.ipa.go.jp/jinzai/ics/core\\_human\\_resource/final\\_project/2022/zero-trust-mgn.html](https://www.ipa.go.jp/jinzai/ics/core_human_resource/final_project/2022/zero-trust-mgn.html) URL

# 目次

## 1. 事前調査

### 基本属性

アンケート対象者

業種

事業規模別所属部署

事業規模別所属部署 割合

### 報告A ゼロトラスト認知・認識

- ・ゼロトラスト認知・認識 業種別割合：従業員規模100名未満社勤務
- ・ゼロトラスト認知・認識 業種別割合：従業員規模100名以上社勤務

### 報告A-2 ゼロトラスト認知・認識

- ・3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種 2022-2023比較

## 2. 本調査

### 基本属性

アンケート対象者

### 報告B クラウド・オンプレ利用状況

- ・クラウド・オンプレのシステム導入数 従業員規模別
- ・システムの管理状況

### 報告C ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査

- ・ゼロトラストセキュリティ5要素 意識調査
- ・ゼロトラストセキュリティ導入状況 要素別

### 報告C-2 導入、未導入比率

- ・5業種(医療・福祉、サービス、製造、情報通信、金融・証券・保険)

### 報告D ゼロトラストセキュリティ5要素 導入状況別 今後の予定

- ・導入/未導入要素別 今後の予定

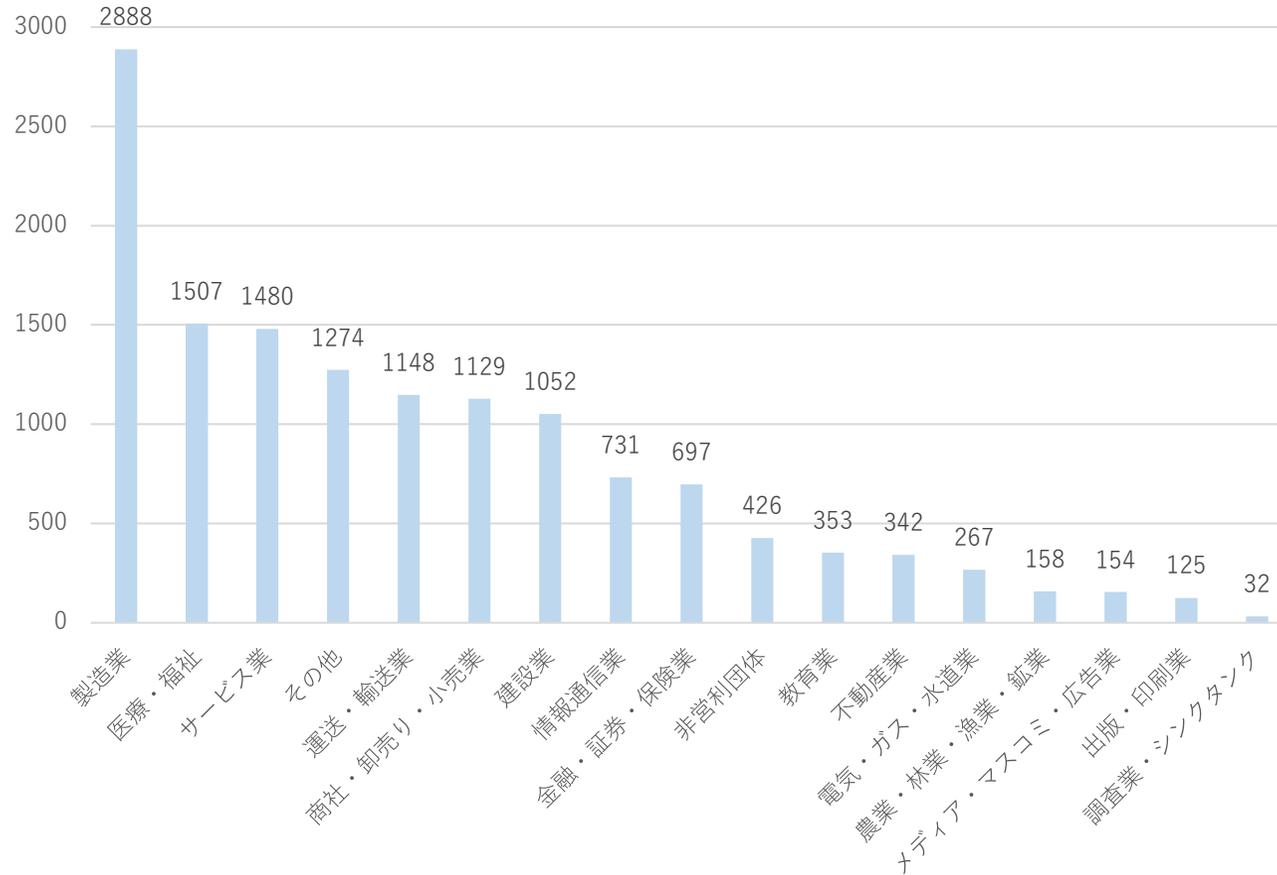
### 報告E 検討や導入を進める上で直面した課題

- ・要素5グループ間比較 10課題
- ・10課題間比較 要素5グループ

# アンケート対象者 基本属性

アンケート対象者 基本属性 業種

有効回答数 / 業種



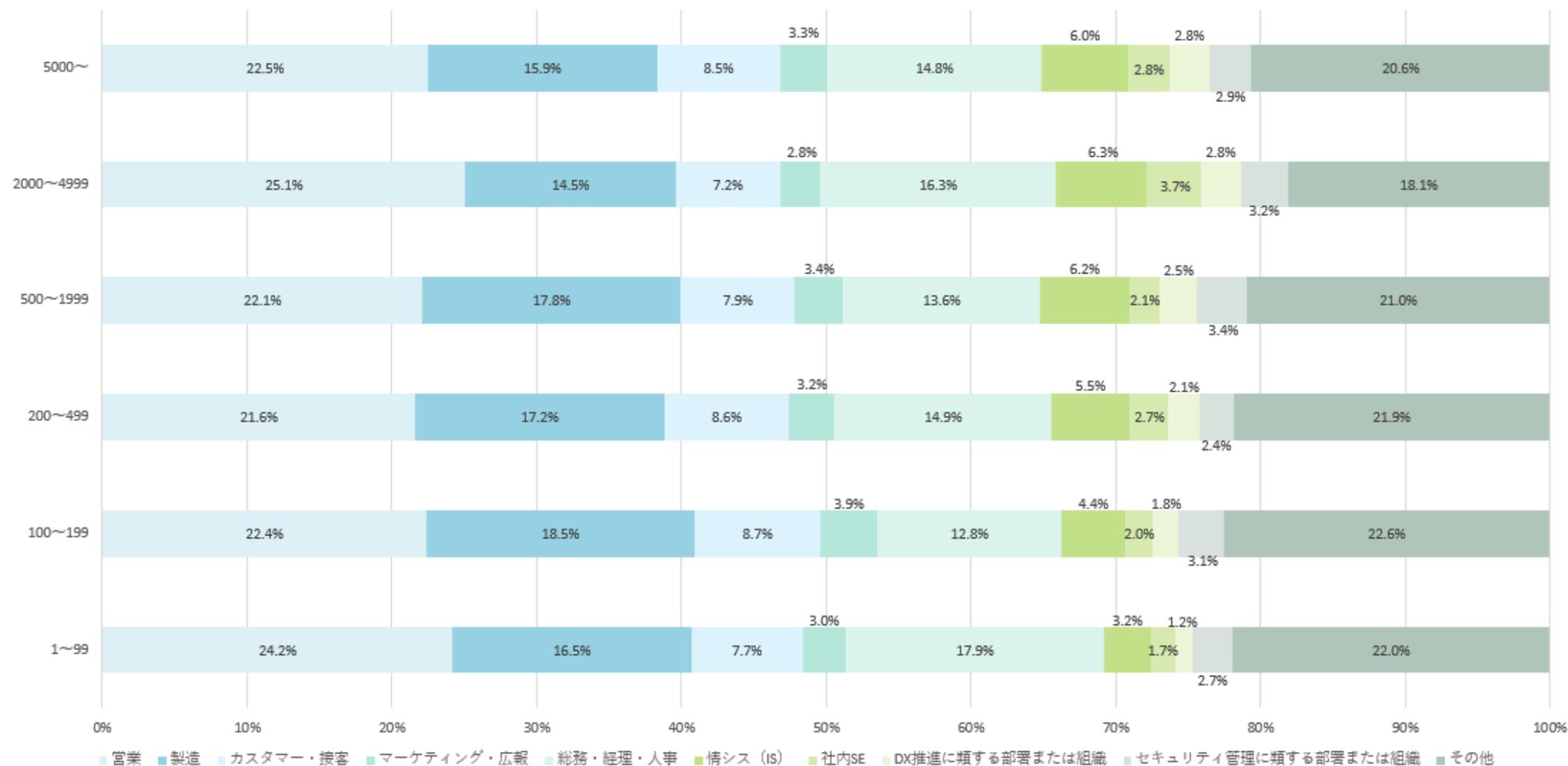
業種	n=13763	個数 / 業種
製造業		2888
医療・福祉		1507
サービス業		1480
その他		1274
運送・輸送業		1148
商社・卸売り・小売業		1129
建設業		1052
情報通信業		731
金融・証券・保険業		697
非営利団体		426
教育業		353
不動産業		342
電気・ガス・水道業		267
農業・林業・漁業・鉱業		158
メディア・マスコミ・広告業		154
出版・印刷業		125
調査業・シンクタンク		32
		13763

# アンケート対象者 基本属性 事業規模別所属部署



回答者数 (n=13763)  
 回答数 (n=14724)  
 ※部署は複数回答 (兼務) 可

アンケート対象者 基本属性 事業規模別所属部署 割合



# 目次

## 1. 事前調査

### 基本属性

アンケート対象者

業種

事業規模別所属部署

事業規模別所属部署 割合

### 報告A ゼロトラスト認知・認識

- ・ゼロトラスト認知・認識 業種別割合：従業員規模100名未満社勤務
- ・ゼロトラスト認知・認識 業種別割合：従業員規模100名以上社勤務

### 報告A-2 ゼロトラスト認知・認識

- ・3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種 2022-2023比較

## 2. 本調査

### 基本属性

アンケート対象者

### 報告B クラウド・オンプレ利用状況

- ・クラウド・オンプレのシステム導入数 従業員規模別
- ・システムの管理状況

### 報告C ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査

- ・ゼロトラストセキュリティ5要素 意識調査
- ・ゼロトラストセキュリティ導入状況 要素別

### 報告C-2 導入、未導入比率

- ・5業種(医療・福祉、サービス、製造、情報通信、金融・証券・保険)

### 報告D ゼロトラストセキュリティ5要素 導入状況別 今後の予定

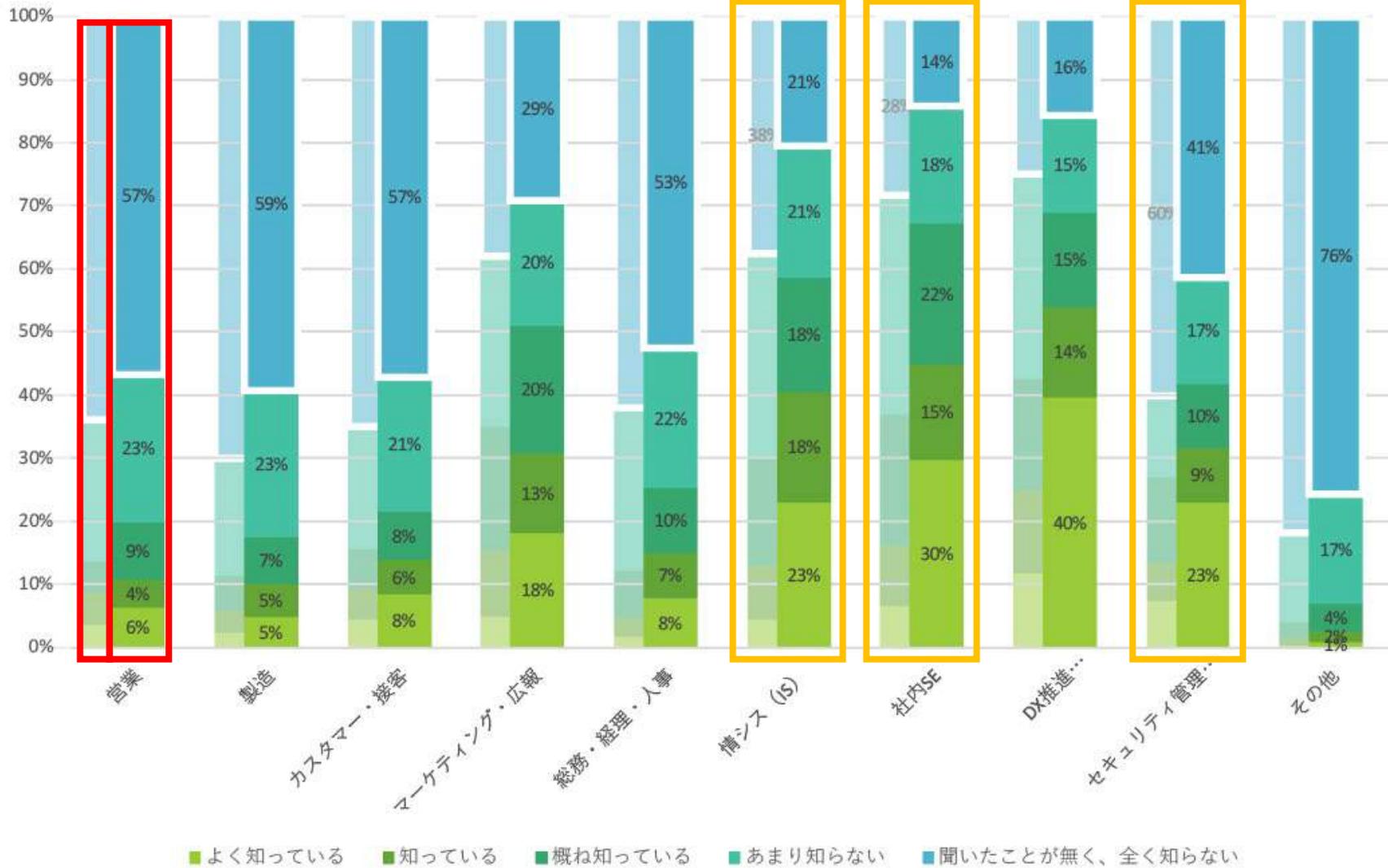
- ・導入/未導入要素別 今後の予定

### 報告E 検討や導入を進める上で直面した課題

- ・要素5グループ間比較 10課題
- ・10課題間比較 要素5グループ



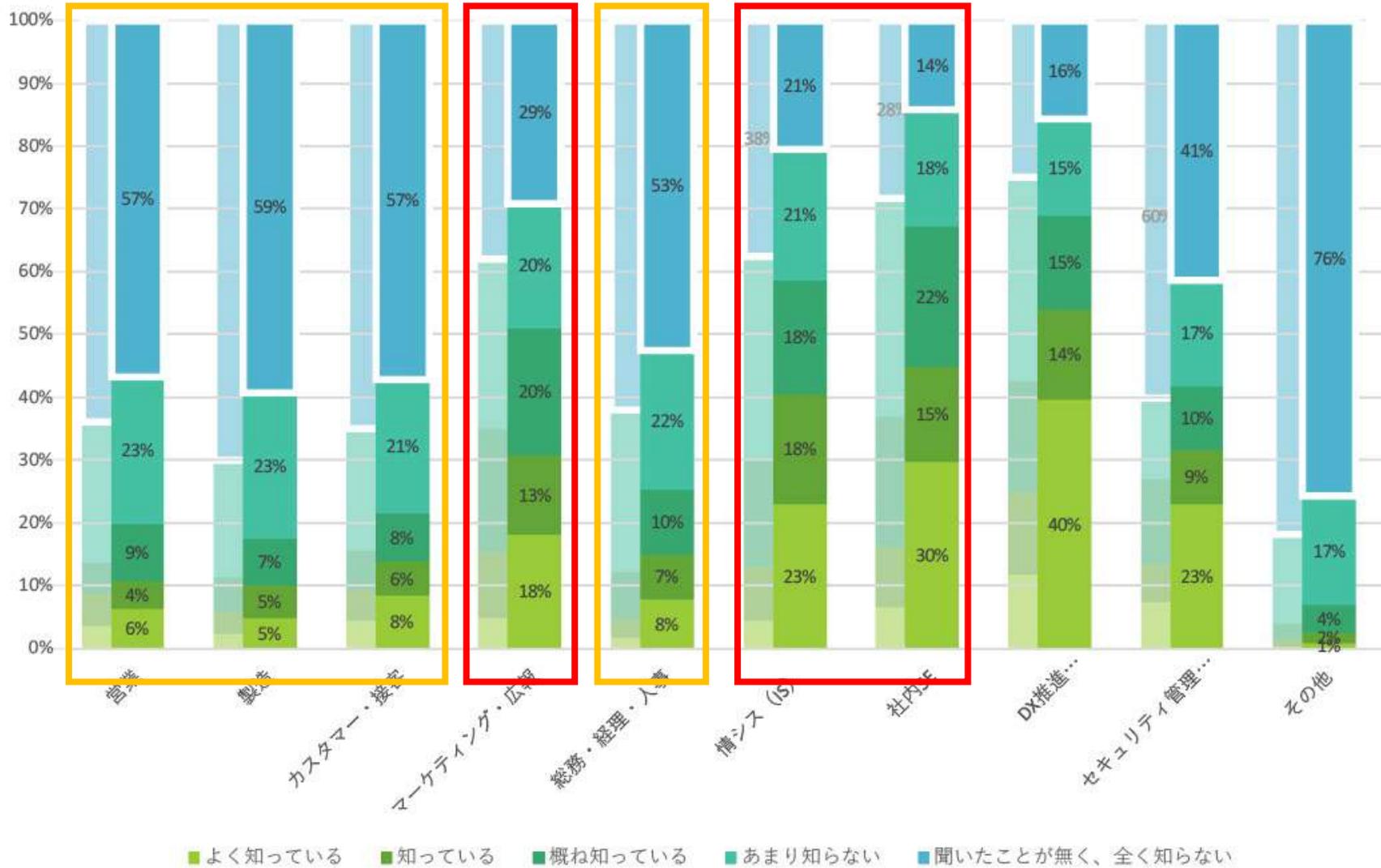
# 所属部署別”ゼロトラスト”認知度 2023



回答者数 (n=13763)  
 回答数 (n=14724)  
 ※部署は複数回答(兼務)可

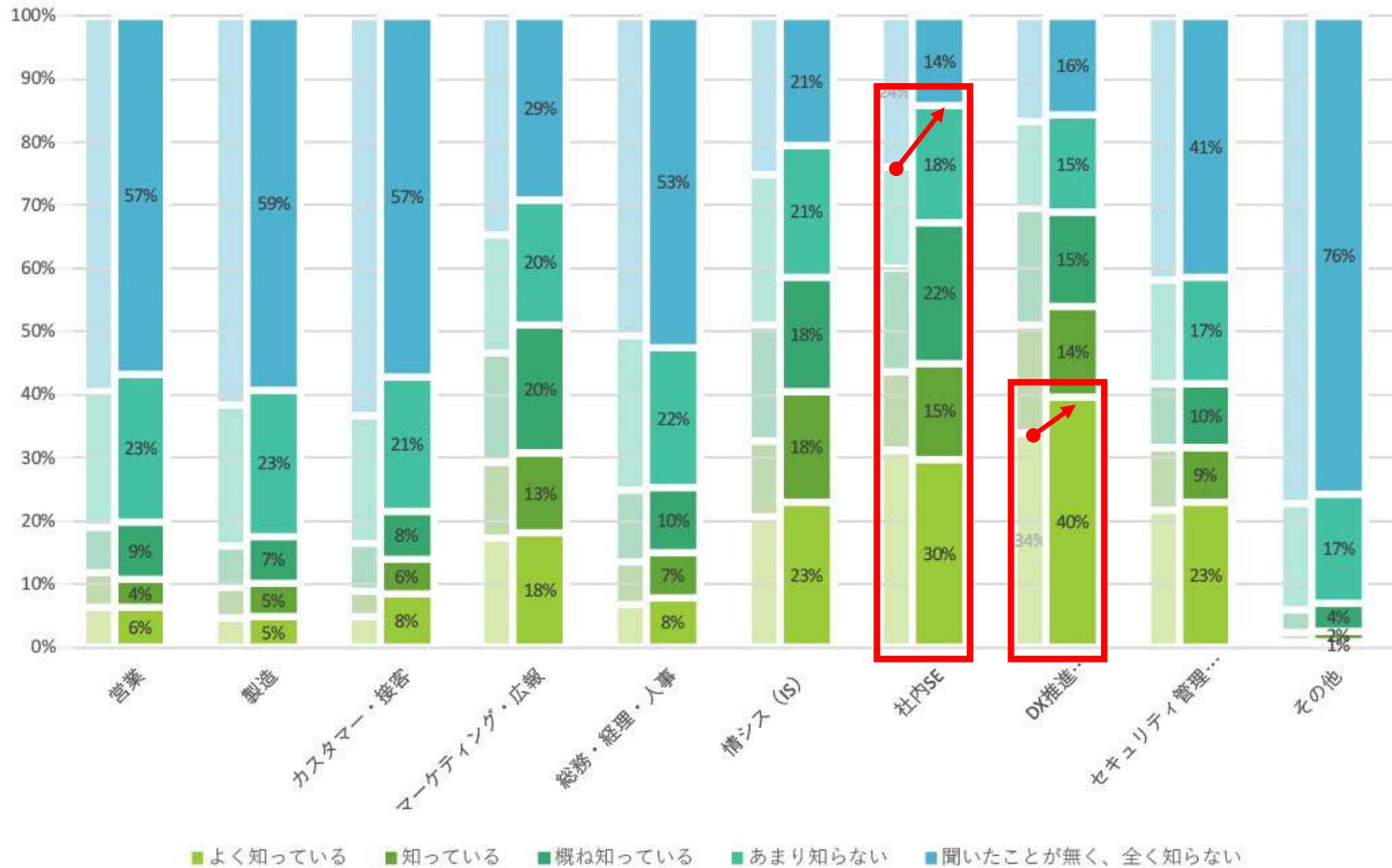
左 従業員数 < 100  
 右 従業員数 ≥ 100

# 所属部署別”ゼロトラスト”認知度 2023



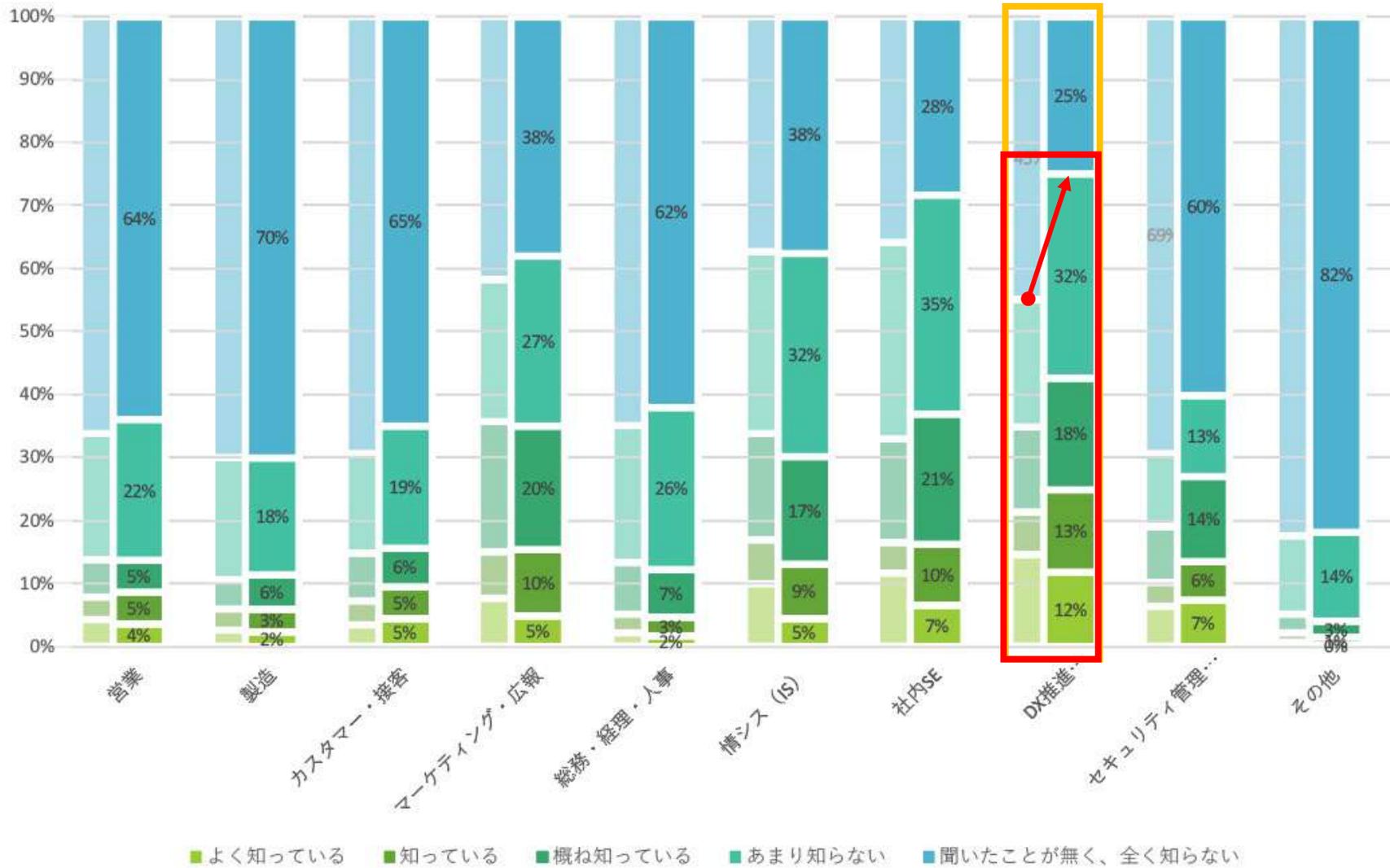
回答者数 (n=13763)  
 回答数 (n=14724)  
 ※部署は複数回答(兼務)可  
 左 従業員数 < 100  
 右 従業員数 ≥ 100

”ゼロトラスト”認知度調査業種別 割合/従業員規模100名以上社勤務 2022 - 2023



左 2022  
右 2023

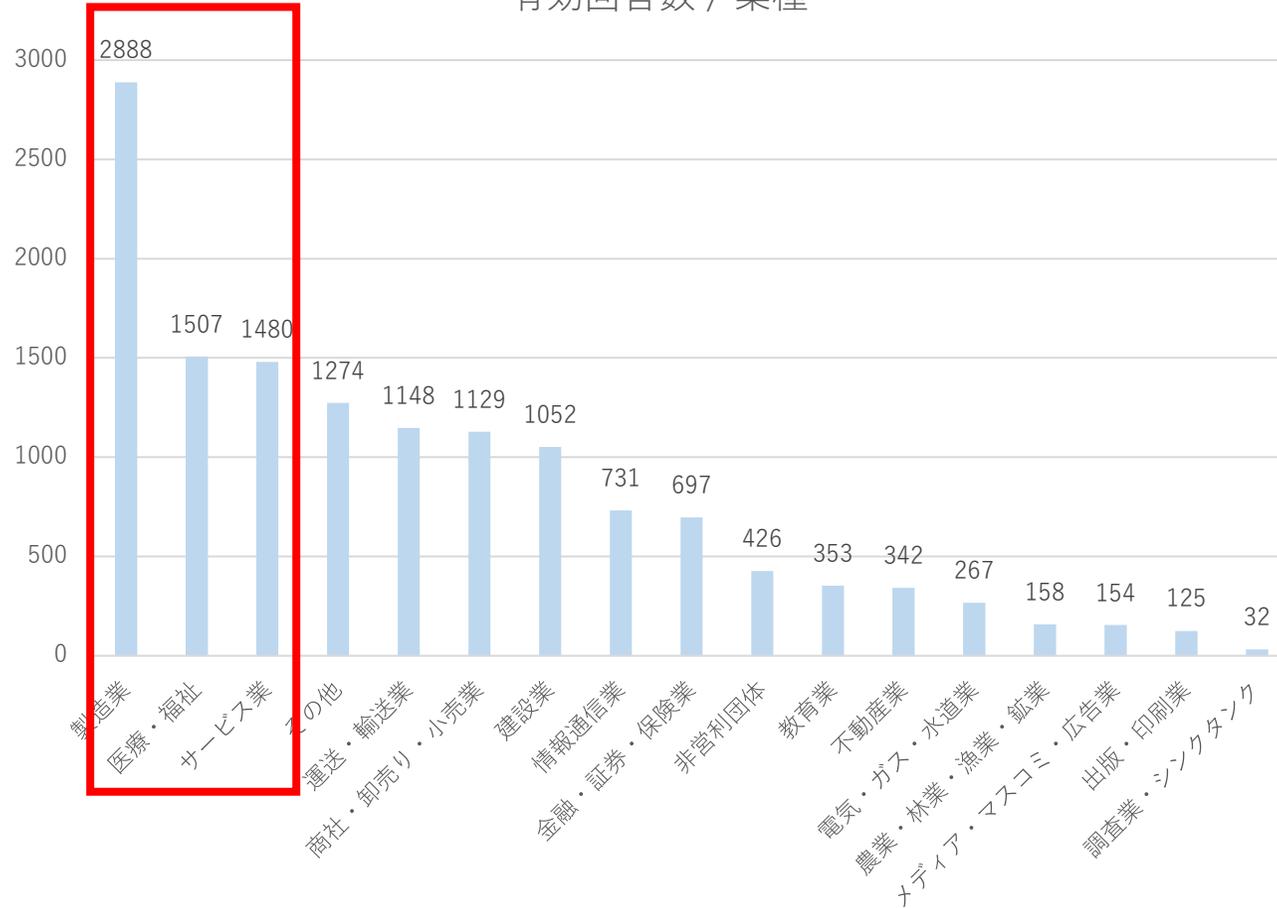
”ゼロトラスト”認知度調査業種別 割合/従業員規模100名未満社勤務 2022 - 2023



左 2022  
右 2023

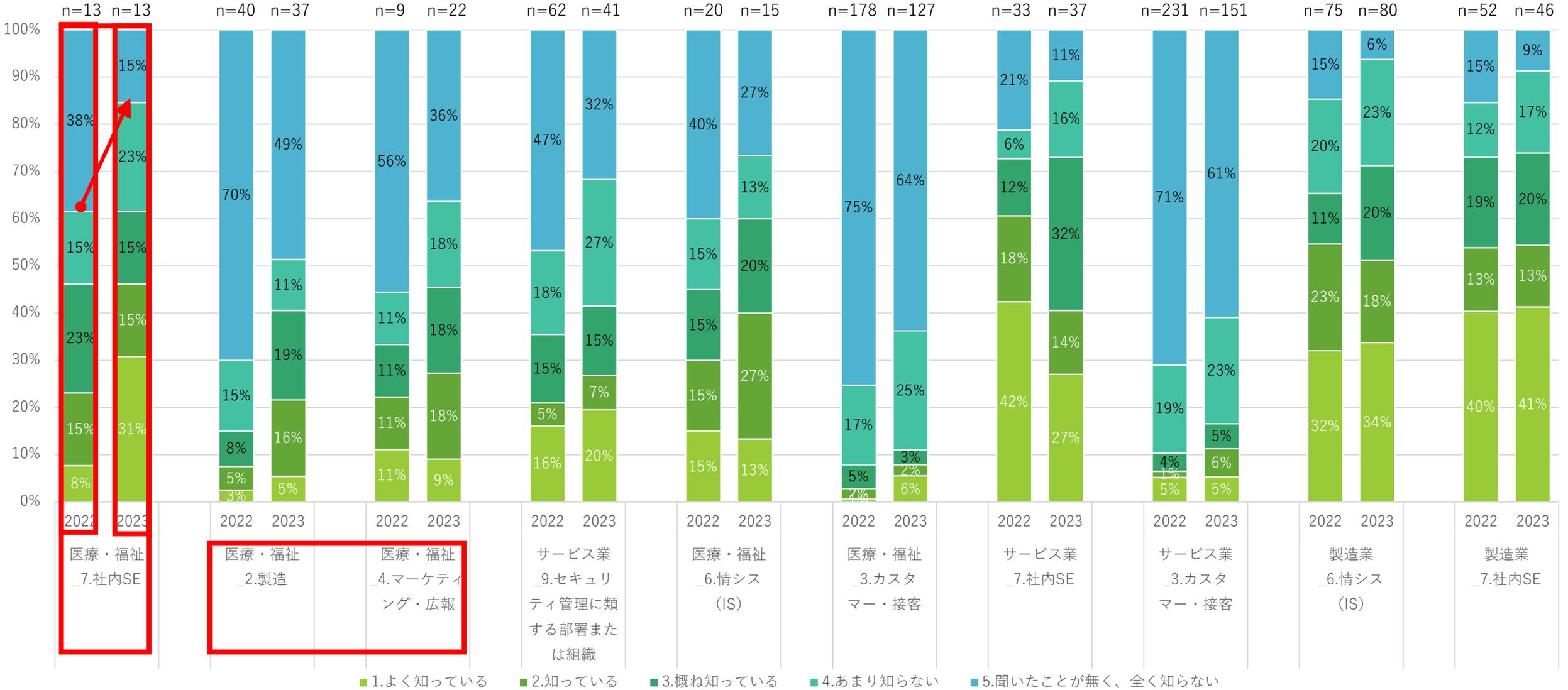


有効回答数 / 業種



業種	n=13763	個数 / 業種
製造業	2888	2888
医療・福祉	1507	1507
サービス業	1480	1480
その他	1274	1274
運送・輸送業	1148	1148
商社・卸売り・小売業	1129	1129
建設業	1052	1052
情報通信業	731	731
金融・証券・保険業	697	697
非営利団体	426	426
教育業	353	353
不動産業	342	342
電気・ガス・水道業	267	267
農業・林業・漁業・鉱業	158	158
メディア・マスコミ・広告業	154	154
出版・印刷業	125	125
調査業・シンクタンク	32	32
	13763	13763

認知ポイント向上\_TOP10 | 3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種 | 事業規模100名以上 2022-2023



## まとめ

昨年に続き、

1. 事業規模（従業員数）が大きいほどゼロトラストセキュリティへの関心が高い
2. 事業規模で比べた際に差異が大きいのは 「DX推進」、「社内SE」、「セキュリティ管理」に属する部署

昨年から本年の変化

3. 従業員数100名以上の組織において、  
「DX推進」部署にてゼロトラストの認知の深度が上がり、「社内SE」にて認知が広がった。
4. 従業員数100名未満の組織において、「DX推進」部署にてゼロトラストの認知が広がった

## 考察

・ゼロトラストセキュリティに関する認知・認識の広さ、深さを3業種間で比べると、「製造業」>「サービス業」>「医療・福祉」の順になり、「医療・福祉」は他業種と比べると認知・認識のポイントが相対的に低い傾向がみられる。昨年から今年にかけて「医療・福祉」業種における認知ポイントが上昇した要因の一つには、医療機関におけるセキュリティインシデントの発生が考えられる。

# 本調査

# 目次

## 1. 事前調査

### 基本属性

アンケート対象者

業種

事業規模別所属部署

事業規模別所属部署 割合

### 報告A ゼロトラスト認知・認識

- ・ゼロトラスト認知・認識 業種別割合：従業員規模100名未満社勤務
- ・ゼロトラスト認知・認識 業種別割合：従業員規模100名以上社勤務

### 報告A-2 ゼロトラスト認知・認識

- ・3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種 2022-2023比較

## 2. 本調査

### 基本属性

アンケート対象者

### 報告B クラウド・オンプレ利用状況

- ・クラウド・オンプレのシステム導入数 従業員規模別
- ・システムの管理状況

### 報告C ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査

- ・ゼロトラストセキュリティ5要素 意識調査
- ・ゼロトラストセキュリティ導入状況 要素別

### 報告C-2 導入、未導入比率

- ・5業種(医療・福祉、サービス、製造、情報通信、金融・証券・保険)

### 報告D ゼロトラストセキュリティ5要素 導入状況別 今後の予定

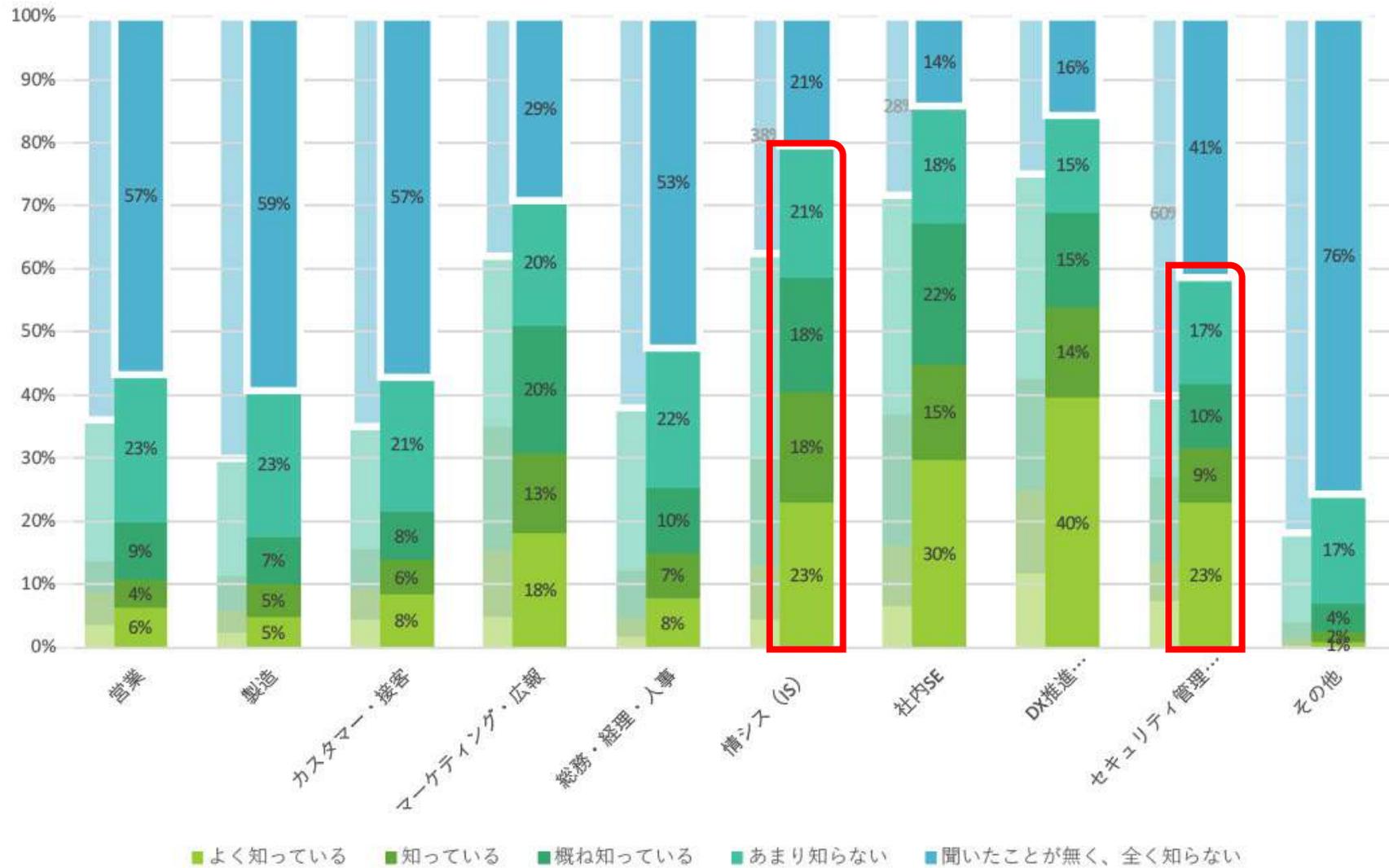
- ・導入/未導入要素別 今後の予定

### 報告E 検討や導入を進める上で直面した課題

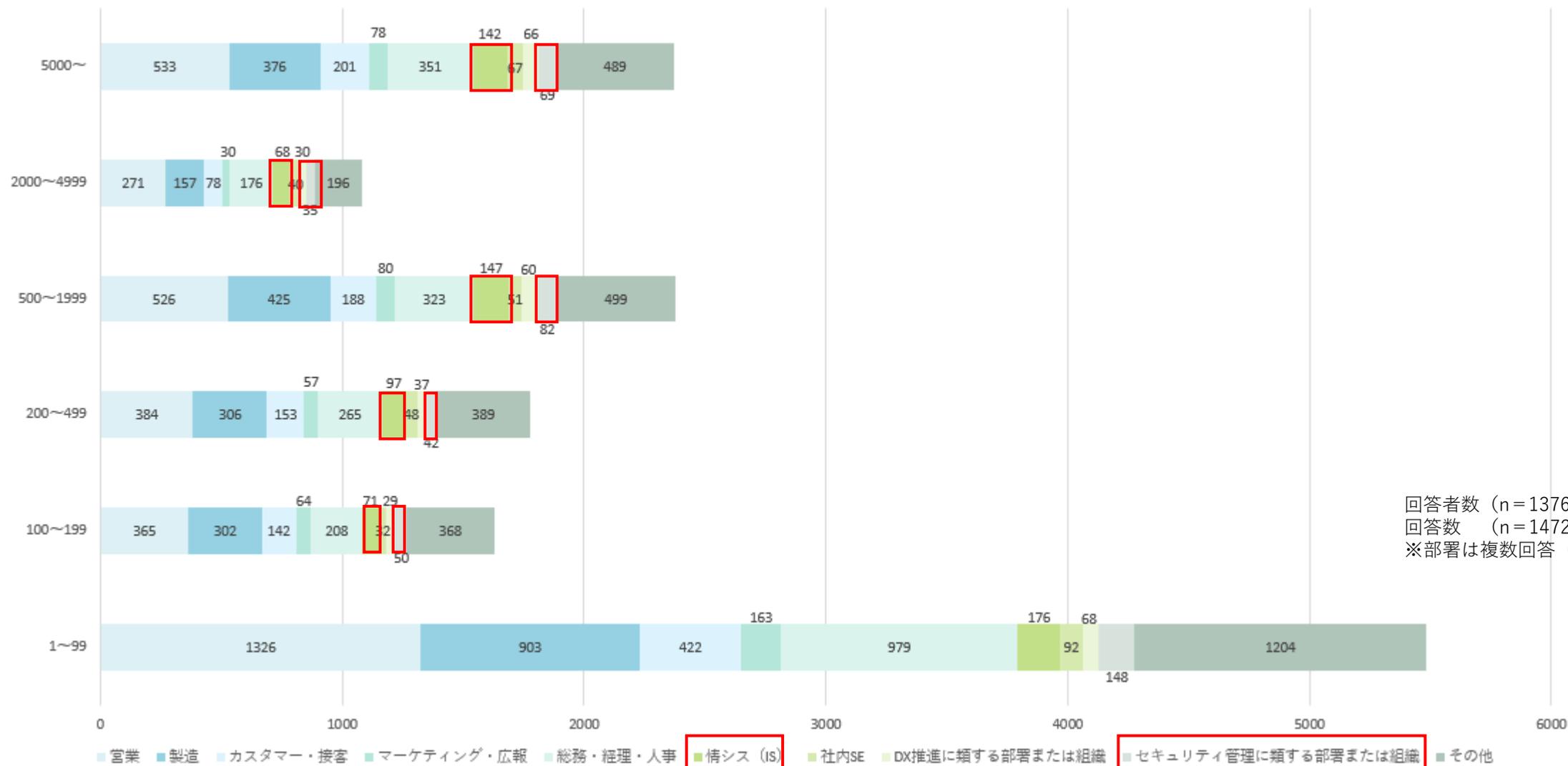
- ・要素5グループ間比較 10課題
- ・10課題間比較 要素5グループ

# 本調査 アンケート対象者 基本属性

# 所属部署別”ゼロトラスト”認知度 2023



アンケート対象者 基本属性 事業規模別所属部署



回答者数 (n=13763)  
 回答数 (n=14724)  
 ※部署は複数回答 (兼務) 可

# 目次

## 1. 事前調査

### 基本属性

アンケート対象者

業種

事業規模別所属部署

事業規模別所属部署 割合

### 報告A ゼロトラスト認知・認識

- ・ゼロトラスト認知・認識 業種別割合：従業員規模100名未満社勤務
- ・ゼロトラスト認知・認識 業種別割合：従業員規模100名以上社勤務

### 報告A-2 ゼロトラスト認知・認識

- ・3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種 2022-2023比較

## 2. 本調査

### 基本属性

アンケート対象者

### 報告B クラウド・オンプレ利用状況

- ・クラウド・オンプレのシステム導入数 従業員規模別
- ・システムの管理状況

### 報告C ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査

- ・ゼロトラストセキュリティ5要素 意識調査
- ・ゼロトラストセキュリティ導入状況 要素別

### 報告C-2 導入、未導入比率

- ・5業種(医療・福祉、サービス、製造、情報通信、金融・証券・保険)

### 報告D ゼロトラストセキュリティ5要素 導入状況別 今後の予定

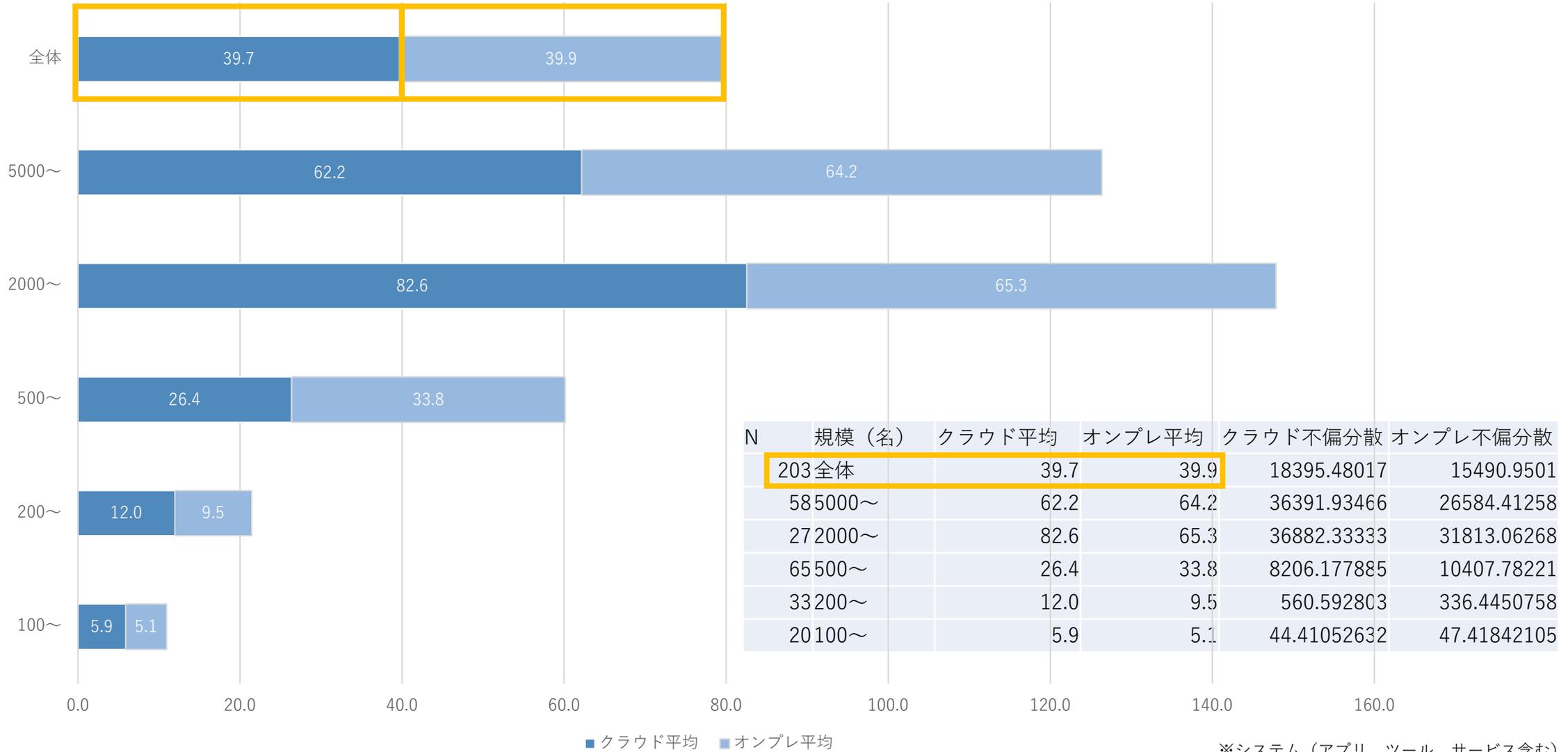
- ・導入/未導入要素別 今後の予定

### 報告E 検討や導入を進める上で直面した課題

- ・要素5グループ間比較 10課題
- ・10課題間比較 要素5グループ

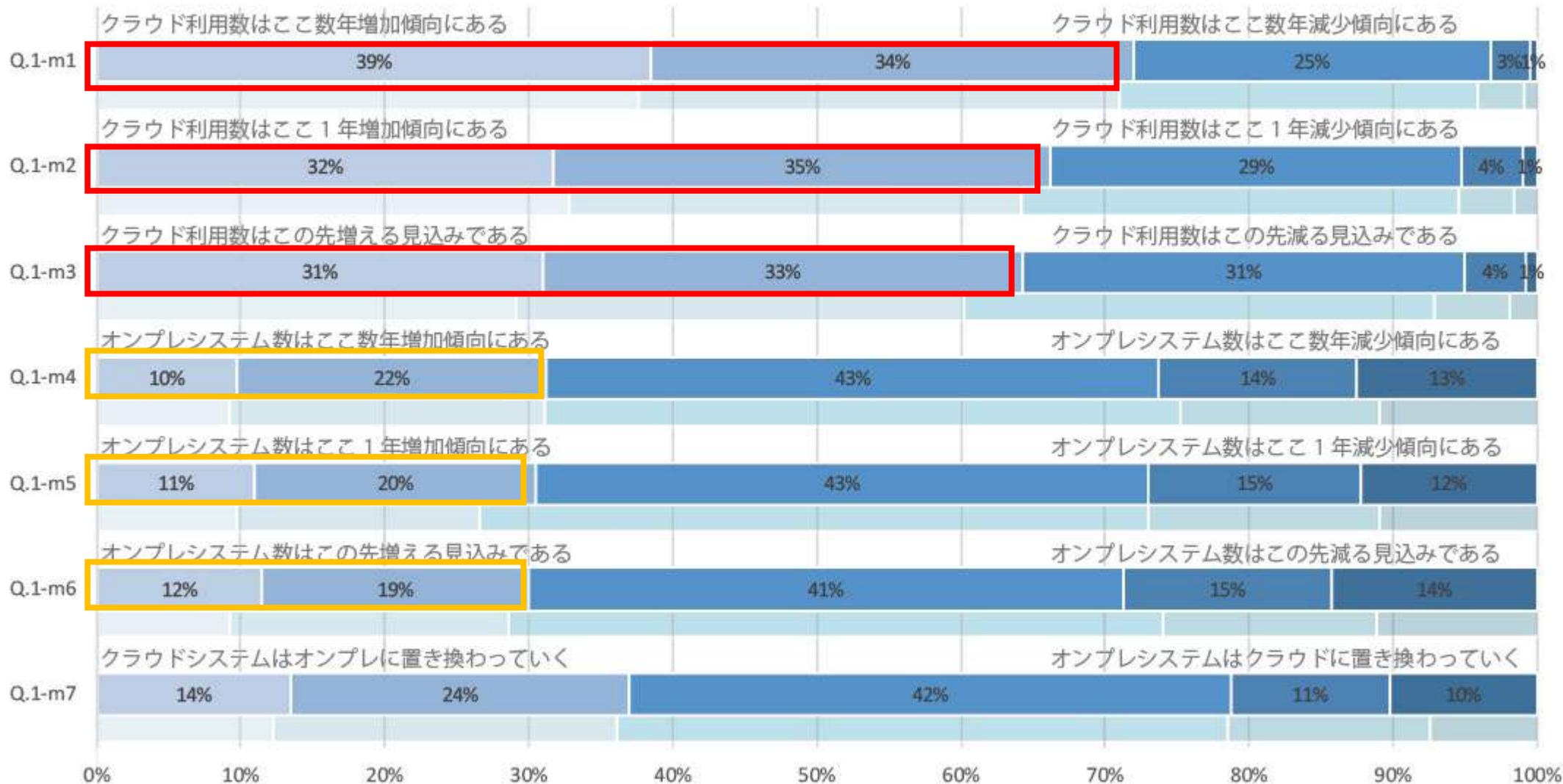


# システム導入数 従業員数別



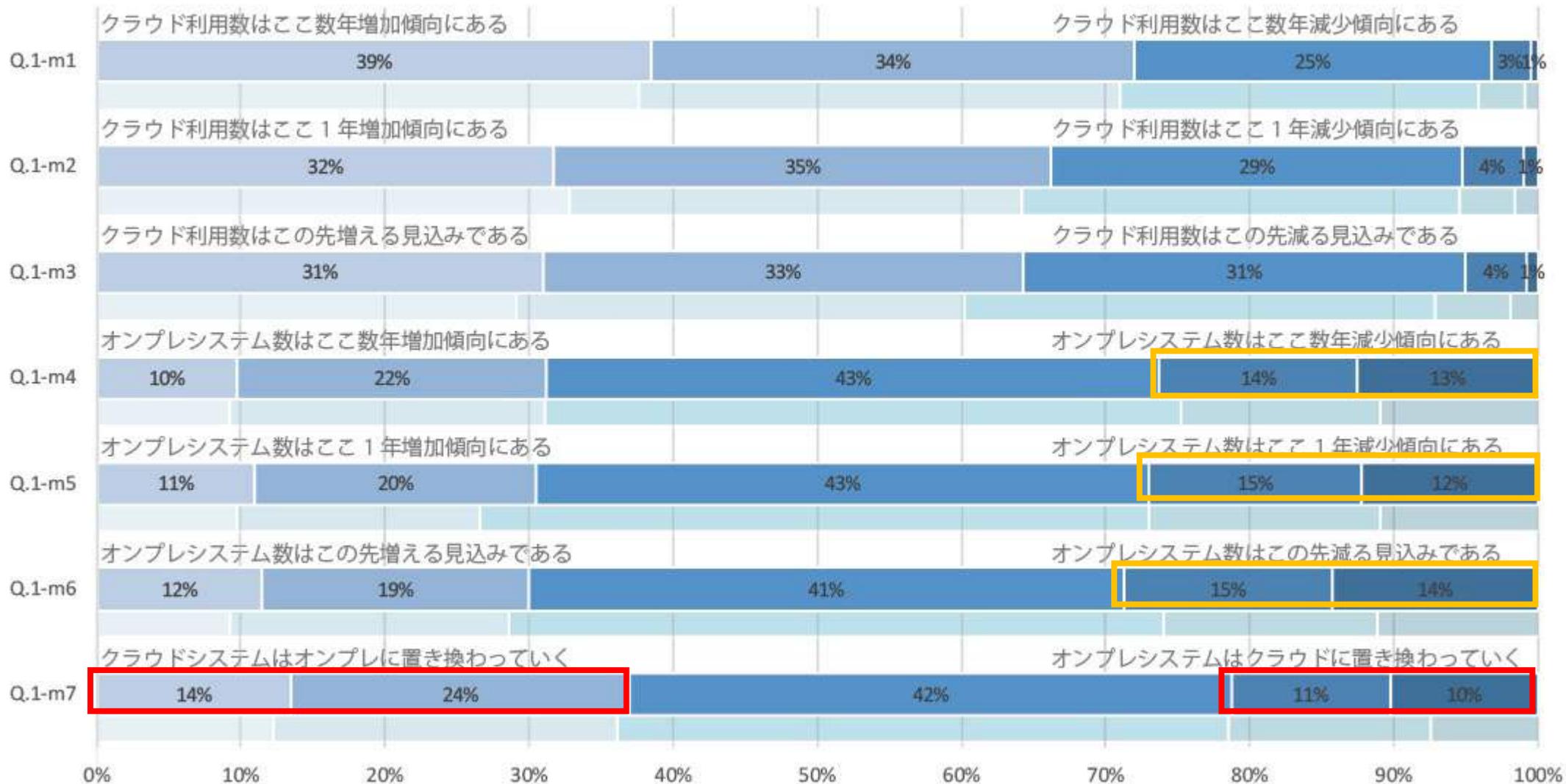
※システム (アプリ、ツール、サービス含む)

# オンプレシステム及びクラウド利用数の傾向に関して 2022-2023



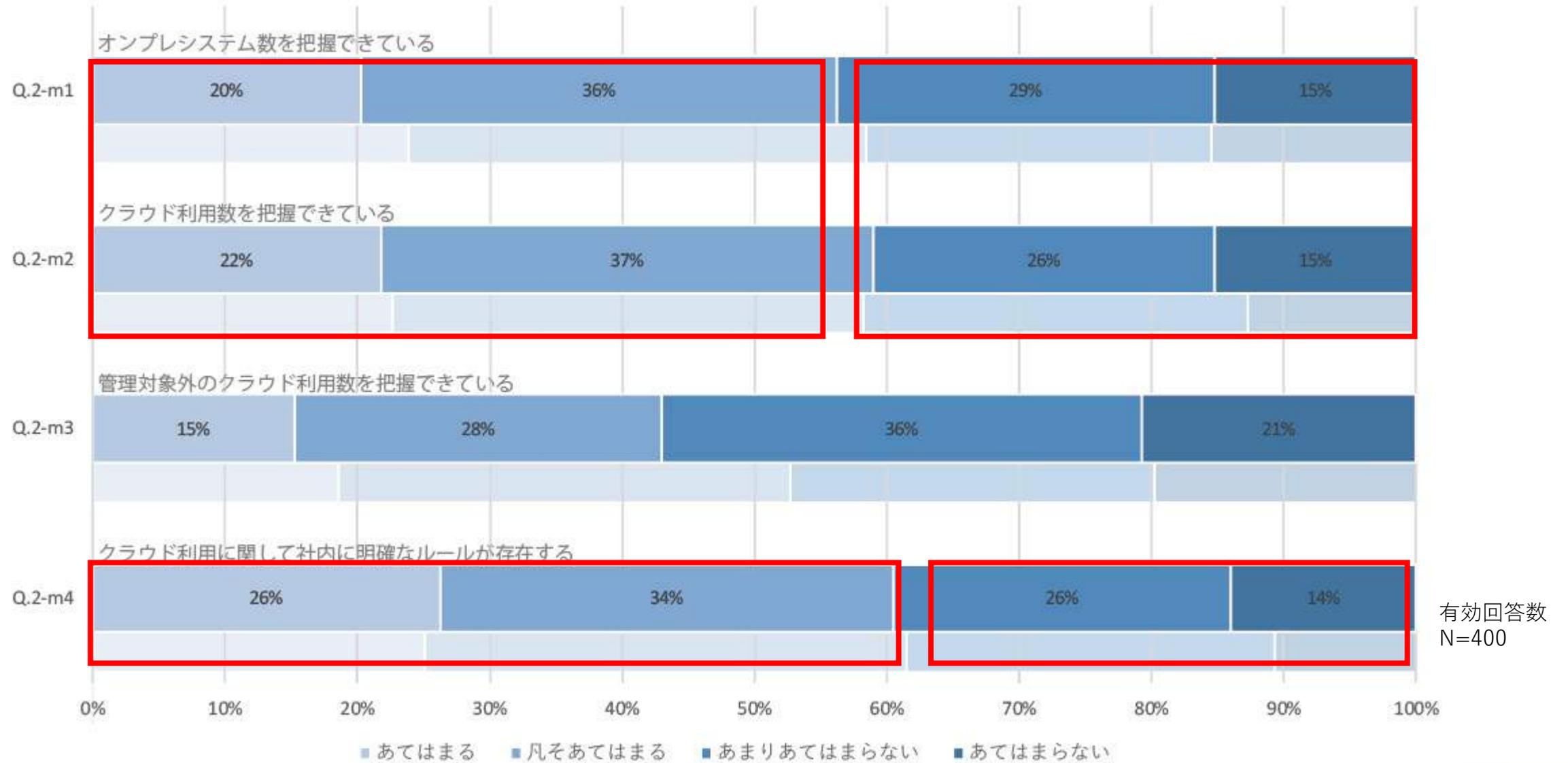
有効回答数  
N=400

# オンプレシステム及びクラウド利用数の傾向に関して 2022-2023



有効回答数  
N=399

# システムの管理状況に関する質問 2022-2023



## まとめ

昨年に続き、大まかな傾向に変化はない。数値の変動に関しては、下記。

- 1.事業規模が大きいほどシステム数は増える傾向がみられる
- 2.クラウドシステムは平均39.7個、オンプレシステムは平均39.9個
- 3.クラウドシステムは7割前後の方が増加傾向にあると回答、オンプレシステムは3割前後の方が増加傾向にあると回答  
一方、オンプレシステムは減少傾向にあるとの回答が2.5割
- 4.クラウドとオンプレが置き換わる傾向に関しては、クラウドからオンプレに置き換わるとの回答が3.5割、オンプレからクラウドに置き換わるとの回答が2.5割
- 5.「クラウド利用に関する明確な社内ルール」に関しては、「ある」が6割、「ない」が4割

## 考察（注意点）

- 1.IT戦略、セキュリティ戦略が異なるため、クラウド・オンプレ戦略も各社各様。
- 2.クラウドシステム数（システム数）が増加する傾向にある中で、クラウド利用に関して明確なルールが存在しない状況はリスクとなり得る。また、利用状況、サービス内容は日々更新されるため、今一度、ポリシーやルールの再確認を。

# 目次

## 1. 事前調査

### 基本属性

アンケート対象者

業種

事業規模別所属部署

事業規模別所属部署 割合

### 報告A ゼロトラスト認知・認識

- ・ゼロトラスト認知・認識 業種別割合：従業員規模100名未満社勤務
- ・ゼロトラスト認知・認識 業種別割合：従業員規模100名以上社勤務

### 報告A-2 ゼロトラスト認知・認識

- ・3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種 2022-2023比較

## 2. 本調査

### 基本属性

アンケート対象者

### 報告B クラウド・オンプレ利用状況

- ・クラウド・オンプレのシステム導入数 従業員規模別
- ・システムの管理状況

### 報告C ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査

- ・ゼロトラストセキュリティ5要素 意識調査
- ・ゼロトラストセキュリティ導入状況 要素別

### 報告C-2 導入、未導入比率

- ・5業種(医療・福祉、サービス、製造、情報通信、金融・証券・保険)

### 報告D ゼロトラストセキュリティ5要素 導入状況別 今後の予定

- ・導入/未導入要素別 今後の予定

### 報告E 検討や導入を進める上で直面した課題

- ・要素5グループ間比較 10課題
- ・10課題間比較 要素5グループ



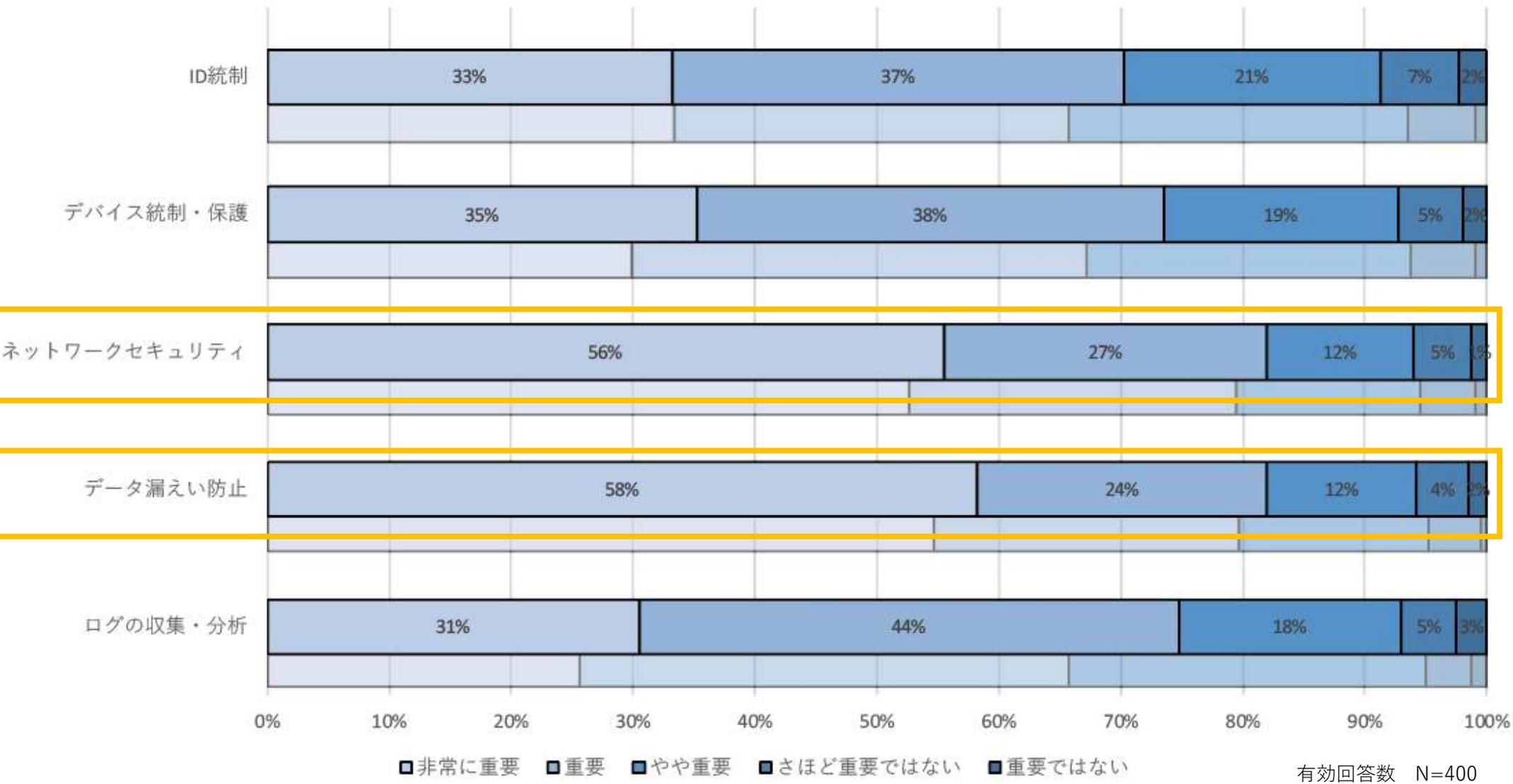
## 設問内容について

IPA（情報処理推進機構）産業サイバーセキュリティセンターから示された文書、「ゼロトラスト移行のすゝめ」（2022年6月時点）ではゼロトラストを構成する重要な要素を以下5つに分類しています。

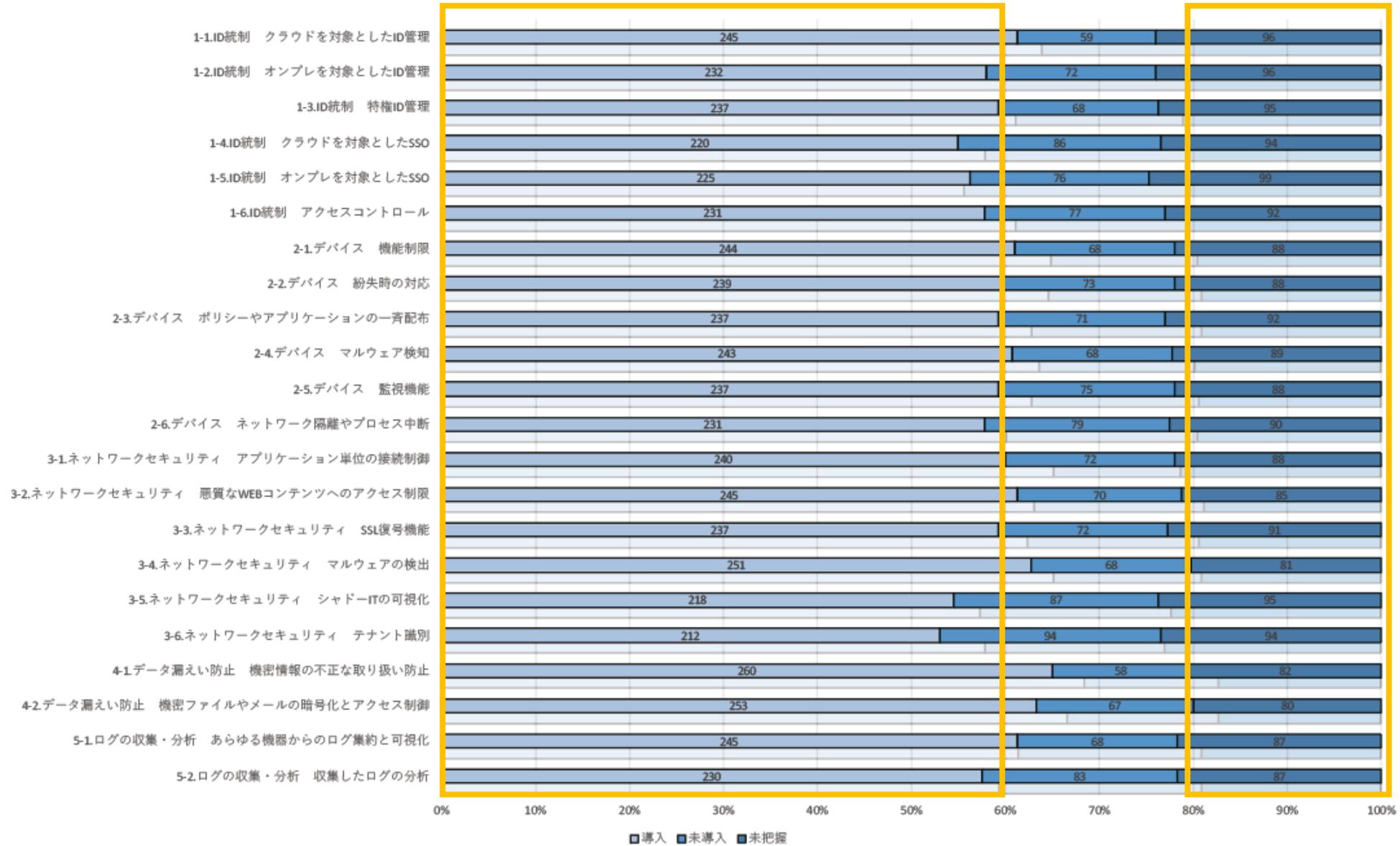
1. ID統制（例 ID管理、SSO、アクセスコントロール）
2. デバイス統制・保護（例 デバイスの機能制限、紛失時の対応、ポリシーやアプリケーションの一斉配布、マルウェア検知・遮断、監視機能、攻撃を受けた後の対応）
3. ネットワークセキュリティ（例 アプリケーション単位の接続制御、アクセス制限、SSL復号機能、マルウェアの検知、シャドーITの可視化、同一SaaS内での組織用と個人用のテナントを識別）
4. データ漏えい防止（例 機密情報の不正な取り扱い防止、機密ファイルやメールの暗号化とアクセス制御）
5. ログの収集・分析（例 あらゆる機器からのログ集約と可視化、収集したログの分析）

各要素それぞれに対する認識をお答えください。

# ゼロトラストセキュリティ各構成要素に関する意識調査 2022-2023

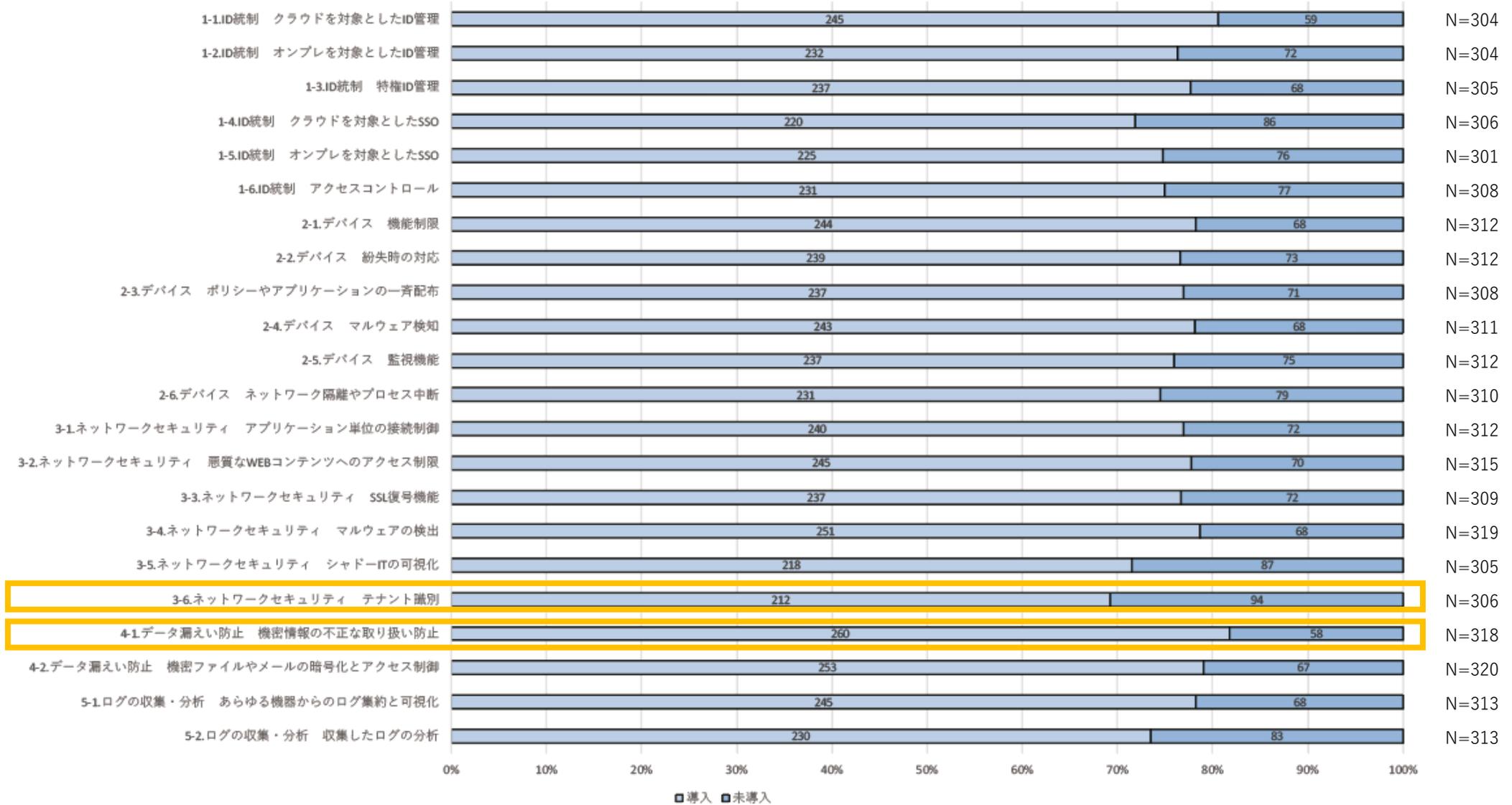


導入状況各 | 要素別 2022-2023



有効回答数  
N=400

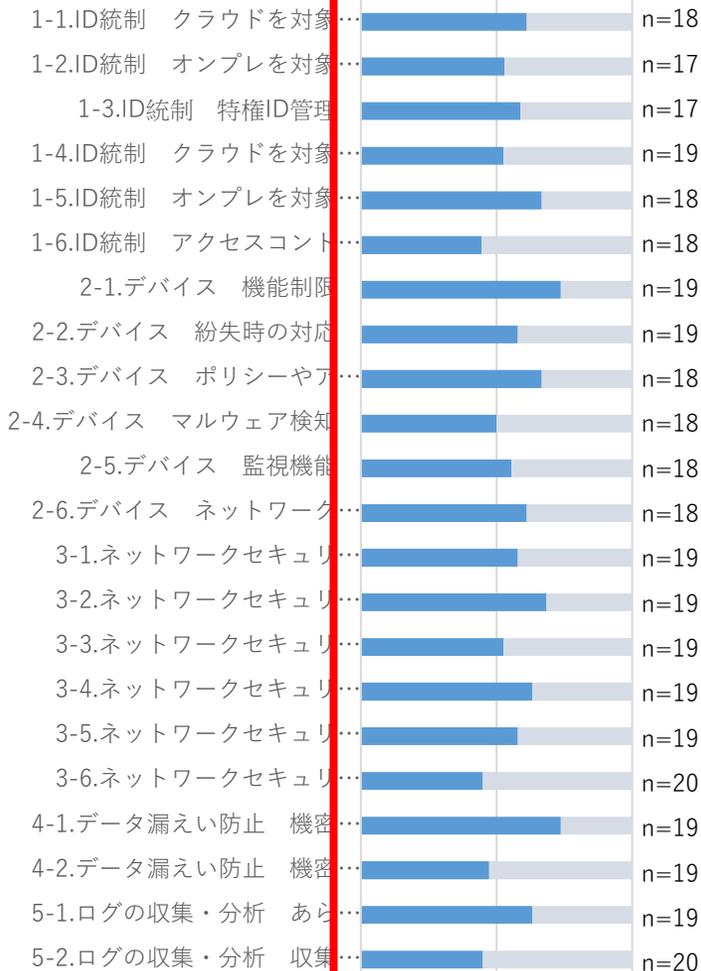
導入状況 | 要素別 2023





### 医療・福祉

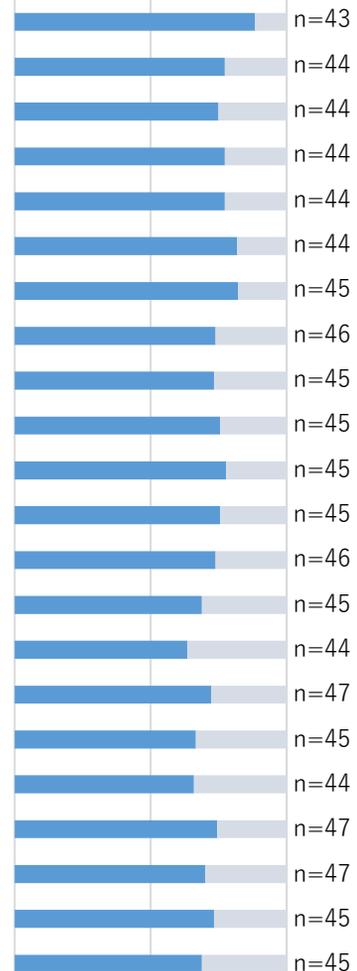
0% 50% 100%



■ 導入済 □ 未導入

### サービス業

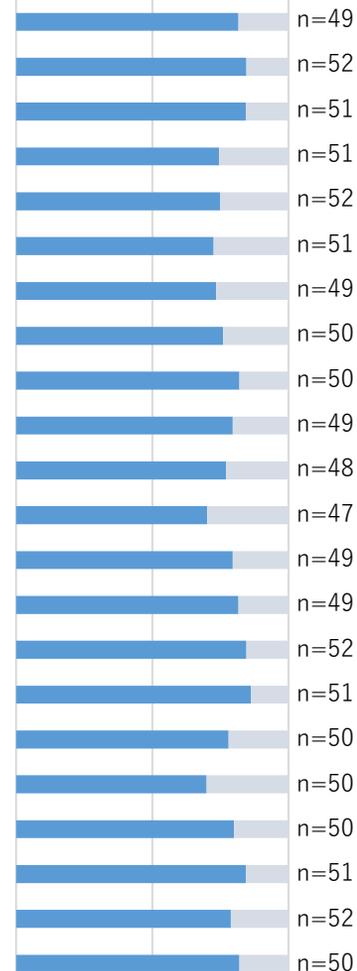
0% 50% 100%



■ 導入済 □ 未導入

### 製造業

0% 50% 100%



■ 導入済 □ 未導入

### 情報通信業

0% 50% 100%



■ 導入済 □ 未導入

### 金融・証券・保険業

0% 50% 100%



■ 導入済 □ 未導入

## まとめ

昨年につき、

### 1. 【重要度】調査結果 スコア順位は

1位「データ漏えい防止」、2位「ネットワークセキュリティ」、続いて「ID統制」、「デバイス統制・保護」、5位が「ログの収集・分析」

### 2. 【実態】調査結果 ゼロトラストセキュリティの重要5要素（22項目）、導入が6割、未導入が2割、未把握が2割 昨年から本年の変化

### 3. 【導入項目順位】結果 1位「ネットワークセキュリティ アプリケーション単位の接続制御」、 最も導入率が低い項目は、「ネットワークセキュリティ テナント識別」

## 考察

- ・2022年レポート内、「導入計画中」または「調査中」としてポイントの高かった「ID統制」関連の項目の導入率の向上が見て取れた。
- ・「医療・福祉」業種においては、各要素に関する対策実施率が他の業種と比べ低いため、今後も注視が必要。
- ・「データ漏洩\_機密情報の不正な取扱い防止」、「デバイス管理\_機能制限」は、多くの業種において導入が優先される傾向が見て取れた。
- ・重要度意識調査「ログの収集・分析」に関しては、収集・分析する目的によって、重要度スコアが上昇すると想定される

# 目次

## 1. 事前調査

### 基本属性

アンケート対象者

業種

事業規模別所属部署

事業規模別所属部署 割合

### 報告A ゼロトラスト認知・認識

- ・ゼロトラスト認知・認識 業種別割合：従業員規模100名未満社勤務
- ・ゼロトラスト認知・認識 業種別割合：従業員規模100名以上社勤務

### 報告A-2 ゼロトラスト認知・認識

- ・3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種 2022-2023比較

## 2. 本調査

### 基本属性

アンケート対象者

### 報告B クラウド・オンプレ利用状況

- ・クラウド・オンプレのシステム導入数 従業員規模別
- ・システムの管理状況

### 報告C ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査

- ・ゼロトラストセキュリティ5要素 意識調査
- ・ゼロトラストセキュリティ導入状況 要素別

### 報告C-2 導入、未導入比率

- ・5業種(医療・福祉、サービス、製造、情報通信、金融・証券・保険)

### 報告D ゼロトラストセキュリティ5要素 導入状況別 今後の予定

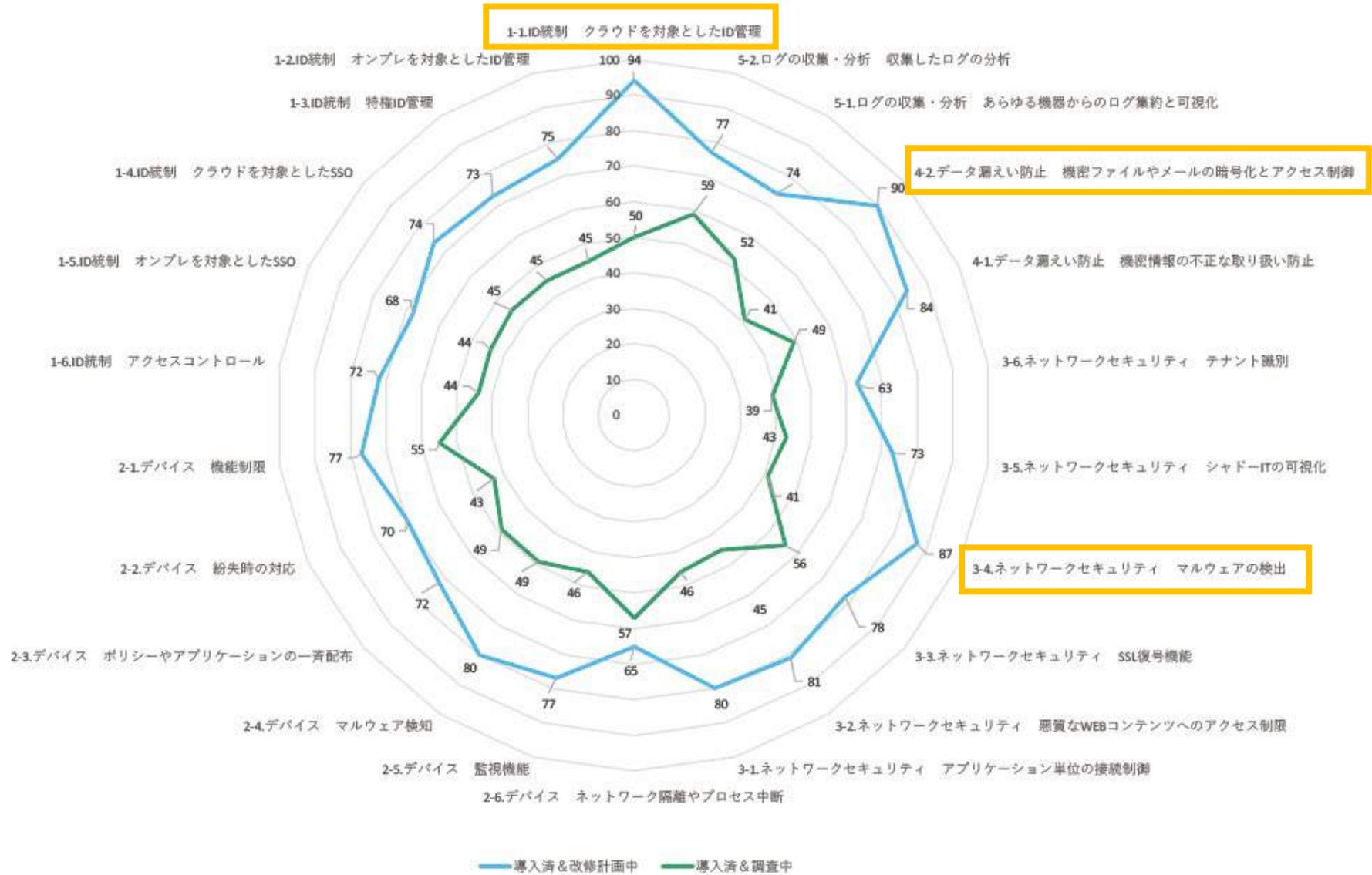
- ・導入/未導入要素別 今後の予定

### 報告E 検討や導入を進める上で直面した課題

- ・要素5グループ間比較 10課題
- ・10課題間比較 要素5グループ



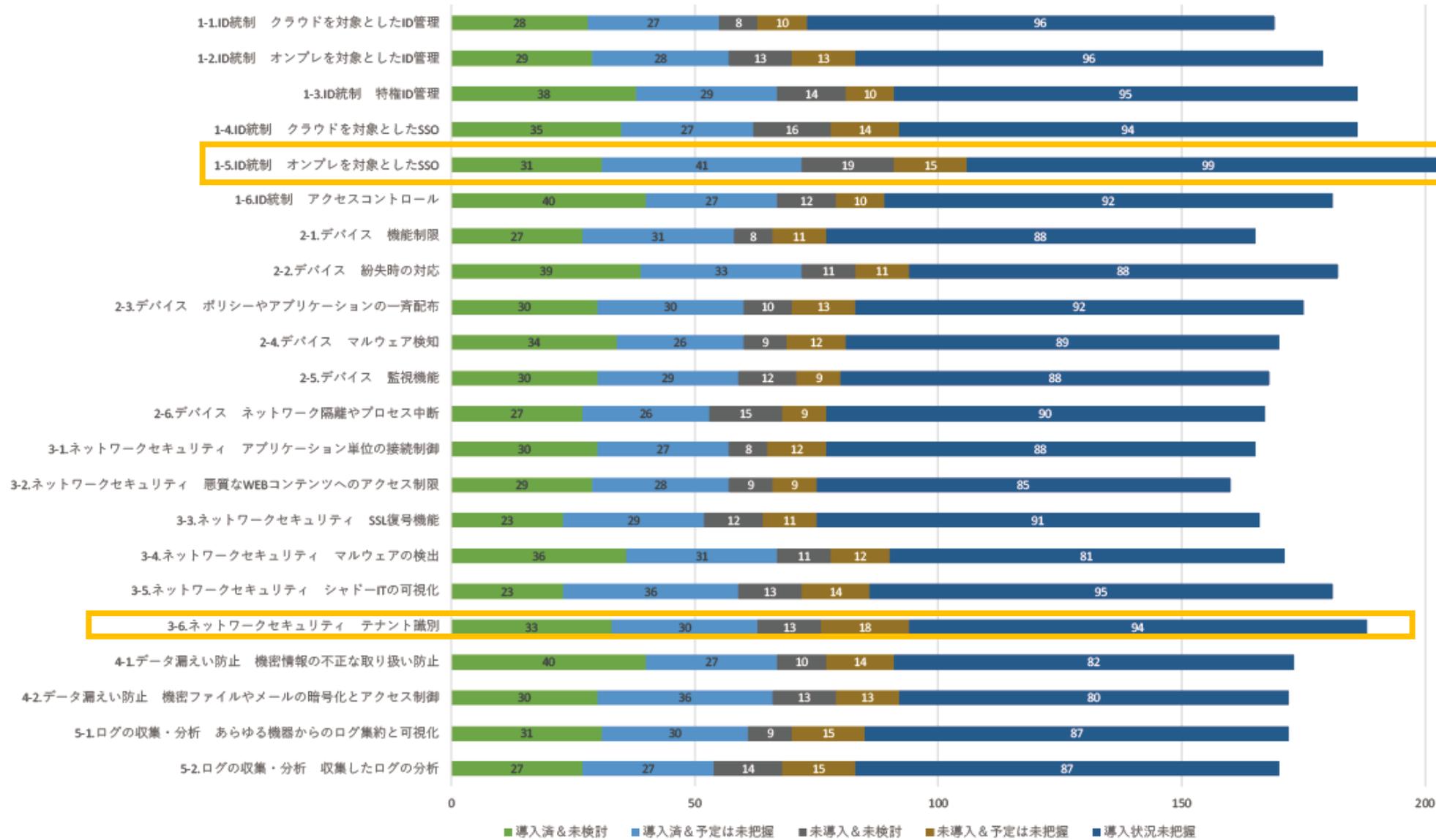
# 導入状況 | 要素別



# 導入状況 | 要素別



## 導入状況 | 要素別



## まとめ

1. 導入実態と関心度の高さは、「ID統制 クラウドを対象としたID管理」  
次いで、「機密ファイルやメールの暗号化とアクセス制御」、「ネットワークセキュリティ マルウェアの検知」
2. 新規導入予定として多いのは、「ID統制 アクセスコントロール」  
次いで、「ネットワークセキュリティ (テナント識別)」
3. 「ID統制 (オンプレを対象としたSSO)」「ネットワークセキュリティ (テナント識別)」 機能に対しては、  
「未検討」「未把握」のスコアが高い

## 考察 (注意点)

1. 「ネットワークセキュリティ (テナント識別)」に関しては、“新たな導入計画や検討”スコアが高い。一方、昨年につき“未検討・未把握”スコアも高い。同一サービスへの別アカウントでの利用がリスクとなり得ることが示唆される。セキュリティポリシーと合わせご確認を。
2. 昨年からの変化として、「ID統制 特権ID管理」の未把握スコアが相対的に低下し、望ましい傾向となっています。また、「ID統制 クラウドを対象としたID管理」の導入実態が上がりました。新規導入予定として、「アクセスコントロール」、「テナント識別」のスコアが高いことは、認証・認可への関心の高さが伺え、良い傾向と捉えられます。

# 目次

## 1. 事前調査

### 基本属性

アンケート対象者

業種

事業規模別所属部署

事業規模別所属部署 割合

### 報告A ゼロトラスト認知・認識

- ・ゼロトラスト認知・認識 業種別割合：従業員規模100名未満社勤務
- ・ゼロトラスト認知・認識 業種別割合：従業員規模100名以上社勤務

### 報告A-2 ゼロトラスト認知・認識

- ・3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種 2022-2023比較

## 2. 本調査

### 基本属性

アンケート対象者

### 報告B クラウド・オンプレ利用状況

- ・クラウド・オンプレのシステム導入数 従業員規模別
- ・システムの管理状況

### 報告C ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査

- ・ゼロトラストセキュリティ5要素 意識調査
- ・ゼロトラストセキュリティ導入状況 要素別

### 報告C-2 導入、未導入比率

- ・5業種(医療・福祉、サービス、製造、情報通信、金融・証券・保険)

### 報告D ゼロトラストセキュリティ5要素 導入状況別 今後の予定

- ・導入/未導入要素別 今後の予定

### 報告E 検討や導入を進める上で直面した課題

- ・要素5グループ間比較 10課題
- ・10課題間比較 要素5グループ



## 設問内容について

1. ID統制 (例 ID管理、SSO、アクセスコントロール)
2. デバイス統制・保護 (例 デバイスの機能制限、紛失時の対応、ポリシーやアプリケーションの一斉配布、マルウェア検知・遮断、監視機能、攻撃を受けた後の対応)
3. ネットワークセキュリティ (例 アプリケーション単位の接続制御、アクセス制限、SSL復号機能、マルウェアの検知、シャドーITの可視化、同一SaaS内での組織用と個人用のテナントを識別)
4. データ漏えい防止 (例 機密情報の不正な取り扱い防止、機密ファイルやメールの暗号化とアクセス制御)
5. ログの収集・分析 (例 あらゆる機器からのログ集約と可視化、収集したログの分析)

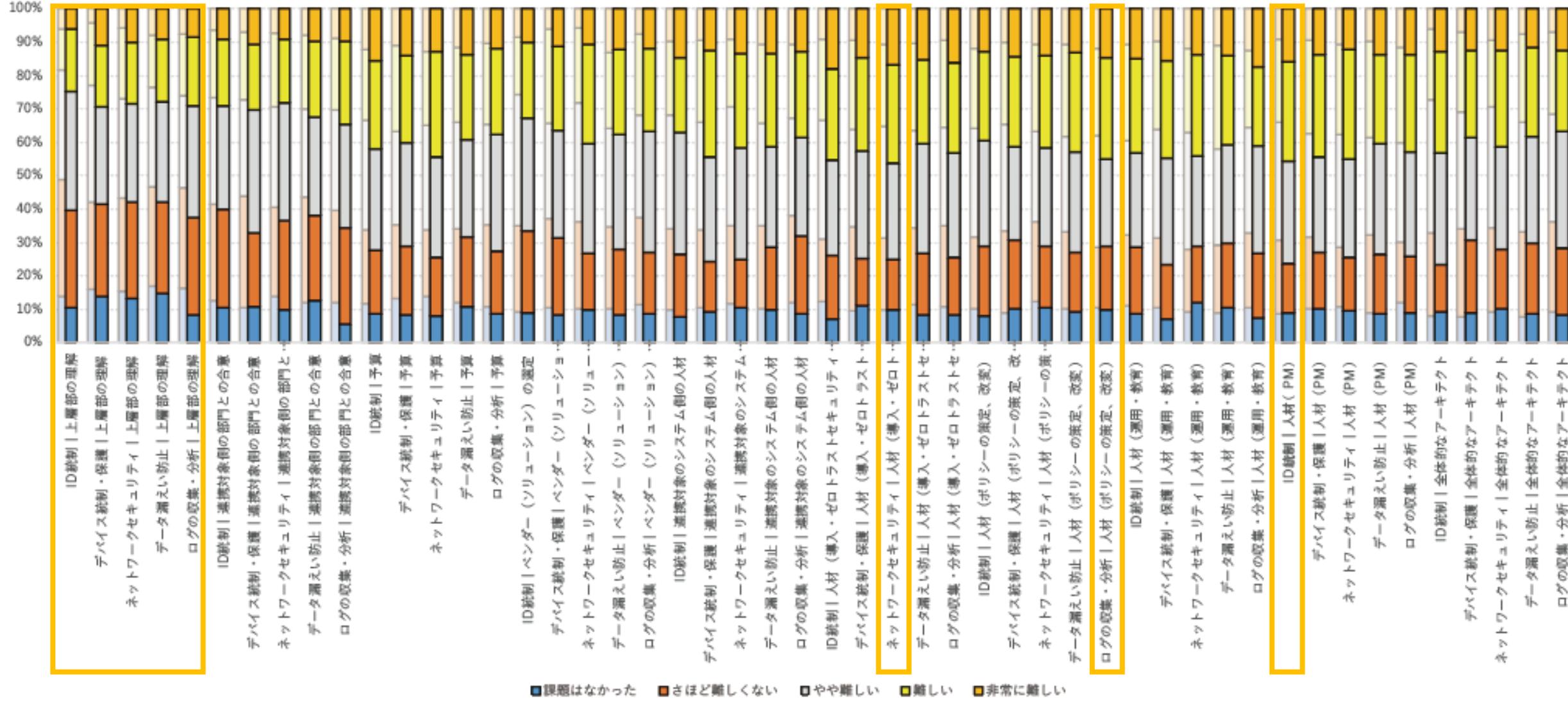
各要素それぞれに対する課題（下記10課題）を5段階評価にてお答えください。

### 課題

- 上層部の理解
- 連携対象側の部門との合意
- 予算
- ベンダー（ソリューション）の選定
- 連携対象のシステム側の人材
- 人材（導入・ゼロトラストセキュリティの知見）
- 人材（ポリシーの策定、改変）
- 人材（運用・教育）
- 人材（PM）
- 全体的なアーキテクト

1.課題はなかった 2.さほど難しくない 3.やや難しい 4.難しい 5.非常に難しい 他.把握はしていない

# 10課題間比較 要素5グループ



## まとめ

1. 10課題別で5要素を集計したところ、下記の傾向が見て取れた。課題感の難易度、
  - 1位 ID統制 | 人材 (PM)
  - 2位 ネットワークセキュリティ | 人材 (導入・ゼロトラストセキュリティの知見)
  - 3位 ログの収集・分析 | 人材 (ポリシーの策定、改変)

と、「人材」に関してスコアが高く、導入時のハードルとなり得る。

## 2. 前年との比較

全体的に「難しい」との認識に傾向が寄った。また、人材 (PM) に関して、課題と感じるスコアが上昇。

## 考察

1. 昨年に続き、他と比べると最も課題感スコアが低い「上層部の理解」に関しても、60%以上の方が、“やや難しい”から“非常に難しい”と回答されている。“ゼロトラストセキュリティ戦略”の重要性を引き続き発信する必要がある。

# 目次

## 1. 事前調査

### 基本属性

アンケート対象者

業種

事業規模別所属部署

事業規模別所属部署 割合

### 報告A ゼロトラスト認知・認識

- ・ゼロトラスト認知・認識 業種別割合：従業員規模100名未満社勤務
- ・ゼロトラスト認知・認識 業種別割合：従業員規模100名以上社勤務

### 報告A-2 ゼロトラスト認知・認識

- ・3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種 2022-2023比較

## 2. 本調査

### 基本属性

アンケート対象者

### 報告B クラウド・オンプレ利用状況

- ・クラウド・オンプレのシステム導入数 従業員規模別
- ・システムの管理状況

### 報告C ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査

- ・ゼロトラストセキュリティ5要素 意識調査
- ・ゼロトラストセキュリティ導入状況 要素別

### 報告C-2 導入、未導入比率

- ・5業種(医療・福祉、サービス、製造、情報通信、金融・証券・保険)

### 報告D ゼロトラストセキュリティ5要素 導入状況別 今後の予定

- ・導入/未導入要素別 今後の予定

### 報告E 検討や導入を進める上で直面した課題

- ・要素5グループ間比較 10課題
- ・10課題間比較 要素5グループ



## さいごに

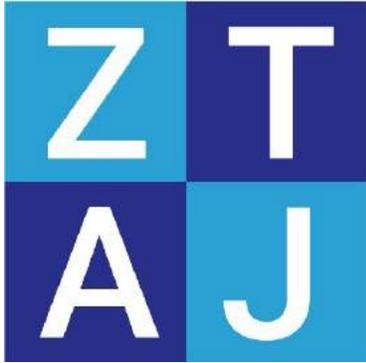
近年のクラウド利用の促進や、コロナ禍以降リモートワークが急速に普及するなど、情報資産を取り巻く環境は絶えず変化し続けています。デジタル化ならびにDXの波は、ロケーションやタイミングに捉われずに人やモノが情報とコンタクトを行える状態を実現させ、私たちの暮らしをフレキシブルでより豊かなものにしてきました。

一方で、不正アクセスや情報漏えい等のセキュリティリスクも増加傾向にあります。ネットワークの内側は安全、外側は危険という考えをもとにしたアーキテクトでは十分な安全性を担保出来なくなってきた現状から、2010年ごろに提唱されていた、ゼロトラスト「無条件には信用せず、全てにおいて確認する」という概念への注目が高まりました。

そのような中、2022年、安全にシステム活用が推進され、結果としてDXが加速されることを目指し、ゼロトラストアライアンス・ジャパンは発足されました。

この度、日本国内におけるゼロトラストセキュリティに関する認知、認識、実態を把握するために行った本調査が、DX推進を行われております皆様の一助となれば幸いです。

ゼロトラストアライアンスジャパン  
ZTAJ事務局 2024年1月12日



## ZTAJ申込について

当アライアンスでは、ゼロトラストに関する知見を持った様々な企業様にご参加いただいております。引き続き、1年を通して新規メンバーを募集しております。団体の活動などご興味のある企業様、また、ご参画、ご協力いただける方は、本セッションのアンケートフォームや、ZTAJのHPに設置しておりますお問い合わせフォームよりご連絡ください。“ゼロトラスト”戦略に際しては、進捗、会社規模、経営層の考え方がそれぞれ違う中で、各社各様、様々な課題を持たれていると思います。一助となるよう、今後も活動を続けてまいります。 ※ゼロトラストアライアンス・ジャパン (ZTAJ) のWebサイト <https://ztaj.jp/>

## 本セッションの資料について

今回ご紹介した資料に関しては、アンケート回答後DLが可能になります。また、より詳細なレポートに関しては、ゼロトラストアライアンス・ジャパンのHPにて随時公開を予定しております。